

【愛知】緑警察署管内トラック交通安全協力会（緑安協・幣旗良太会長、セイリョウライン）は6月20日・21日の2日間、わたり、「交通死亡事故ゼロの日」に伴う交通安全活動を実施した。

1日目は、幣旗会長とKARIKO（高浜市）の重野文彦社長・手島利徳常務が緑署を訪問。通勤・通学時間帯のパトロールに参加したほか、署内にスポーツカーを展示して署員を激励、日頃の活動に謝意を表した。2日目は、名古屋市立桶狭間小学校に4トントラック3台を持ち込み、交通安全教室を実施。6

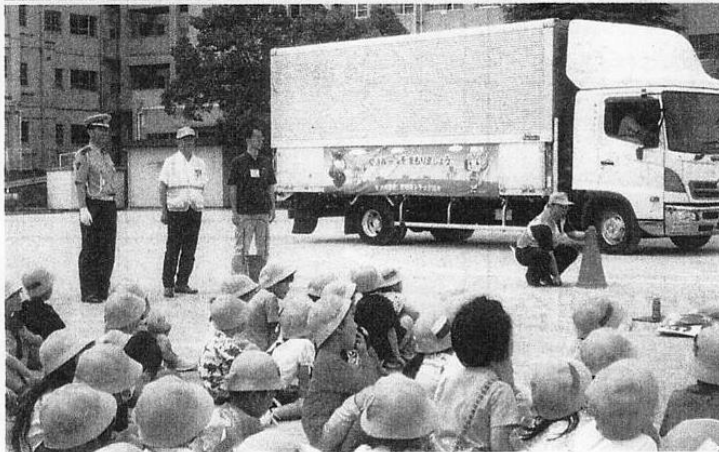
緑警察署管内トラック交通安全協力会

地元小学校で交通安全教室

社が協力し、2学年ずつ3回に分けて制動距離の計測・死角体験・左折時の巻き込み実験などを行った。

早川匡彦校長は659人の全校生徒に対し、「隠れている危険を知って、交通安全にいつも注意する気持ちを高めていきま

しょう」と校内放送で呼びかけ、幣旗会長は、「トラックは決して危険な乗り物ではない。しっかりと自分の命を自分で守って。今日覚えたことを家族にも話してほしい」と児童に伝えた。



活動の様子

伊藤知永署長は「話は難しくても、今日の授業は映像として子どもたちの記憶に残り続ける」と安全教室実施の意義を強調している。

（富田 香）

（レイアウト・又野初音）